



# 南山大学

## 2023 年度 入学試験問題

# 解 答

全学統一入試【2月7日】

記述式の解答については、標準的な解答例を公表しています。

解答例以外の解答に点数を与えている場合もあります。

【文系型／日本史】

【文系型／世界史】

問題番号	設問番号	正解	問題番号	設問番号	正解
(一)	(1)	イ	(五)	(29)	エ
	(2)	ア・ウ		(30)	エ
	(3)	ア		(31)	イ
	(4)	ウ		(32)	ア
	(5)	イ		(33)	ア
	(6)	イ		(34)	ア
	(7)	イ		(35)	ア
(二)	(8)	イ	(六)	(36)	シ
	(9)	エ		(37)	チ
	(10)	エ		(38)	ニ
	(11)	ア		(39)	ソ
	(12)	イ		(40)	サ
	(13)	ア		(41)	ノ
	(14)	ウ		(42)	エ
(三)	(15)	イ	/		
	(16)	イ			
	(17)	ア			
	(18)	エ			
	(19)	ウ			
	(20)	イ			
	(21)	イ			
(四)	(22)	ア			
	(23)	ア			
	(24)	ウ			
	(25)	ウ			
	(26)	エ			
	(27)	イ			
	(28)	ウ			

問題番号	設問番号	正解	問題番号	設問番号	正解
I	(1)	イ	IV	(31)	ウ
	(2)	オ		(32)	ウ
	(3)	オ		(33)	オ
	(4)	ウ		(34)	イ
	(5)	イ		(35)	ア
	(6)	ア		(36)	エ
	(7)	イ		(37)	イ
	(8)	ア		(38)	オ
	(9)	ア		(39)	ウ
	(10)	ア		(40)	ア
II	(11)	エ	V	(41)	ウ
	(12)	イ		(42)	ア
	(13)	イ		(43)	ウ
	(14)	ア		(44)	イ
	(15)	ア		(45)	エ
	(16)	エ		(46)	エ
	(17)	エ		(47)	イ
	(18)	ア		(48)	エ
	(19)	オ		(49)	エ
	(20)	ア		(50)	オ
III	(21)	ア	/		
	(22)	ア			
	(23)	エ			
	(24)	イ			
	(25)	イ			
	(26)	オ			
	(27)	イ			
	(28)	ウ			
	(29)	エ			
	(30)	ア			

【文系型／数学】

I (1)	ア	$(-a-1, -2a^2-4a+6)$	イ	$-3 \leq a \leq \sqrt{10}$
(2)	ウ	$\frac{5}{12}$	エ	$-\frac{5}{6}$
(3)	オ	$-3 < x < 2$	カ	$\sqrt{2} < x < 3$
(4)	キ	210	ク	3 : 14

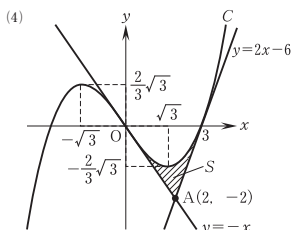
- II
- $f(x) = \frac{x^3}{9} - x$ .
- (1)  $f'(x) = \frac{x^2}{3} - 1$  …①
- より、点  $P(p, f(p))$  における  $C$  の接線の方程式は、
- $$y = \left(\frac{p^2}{3} - 1\right)(x - p) + \frac{p^3}{9} - p$$
- すなわち
- $$y = \left(\frac{p^2}{3} - 1\right)x - \frac{2}{9}p^3 \quad \dots \text{ (答) } \dots \text{ ②}$$
- (2) ②が点  $A(2, -2)$  を通る条件は、
- $$-2 = \left(\frac{p^2}{3} - 1\right) \cdot 2 - \frac{2}{9}p^3$$
- したがって、
- $$p^3 - 3p^2 = 0$$
- $$p^2(p - 3) = 0$$
- $$p = 0, 3.$$
- ②より、求める接線の方程式は、
- $$y = -x, y = 2x - 6. \quad \dots \text{ (答)}$$
- (3) ①より、
- $$f'(x) = \frac{1}{3}(x + \sqrt{3})(x - \sqrt{3})$$

であるから、 $f(x)$  の増減は次のようになる。

$x$	...	$-\sqrt{3}$	...	$\sqrt{3}$	...
$f'(x)$	+	0	-	0	+
$f(x)$	/	$\frac{2}{3}\sqrt{3}$	\	$-\frac{2}{3}\sqrt{3}$	/

よって、求める極値は、

$$\begin{cases} \text{極大値} : f(-\sqrt{3}) = \frac{2}{3}\sqrt{3}, \\ \text{極小値} : f(\sqrt{3}) = -\frac{2}{3}\sqrt{3}. \end{cases} \quad \dots \text{ (答)}$$



$$S = \int_0^2 \left( \frac{x^3}{9} - x \right) - (-x) dx + \int_2^3 \left( \frac{x^3}{9} - x \right) - (2x - 6) dx$$

$$\begin{aligned} &= \int_0^2 \frac{x^3}{9} dx + \int_2^3 \left( \frac{x^3}{9} - 3x + 6 \right) dx \\ &= \left[ \frac{x^4}{36} \right]_0^2 + \left[ \frac{x^4}{36} - \frac{3}{2}x^2 + 6x \right]_2^3 \\ &= \frac{4}{9} + \frac{11}{36} \\ &= \frac{3}{4}. \quad \dots \text{ (答)} \end{aligned}$$

【理系型／物理Ⅰ】

問1

- (1) ア  $\sqrt{\frac{GM}{r}}$     イ  $\frac{1}{r}\sqrt{\frac{GM}{r}}$     ウ  $2\pi r\sqrt{\frac{r}{GM}}$     エ  $\frac{GMm}{2r}$   
 オ  $-\frac{GMm}{2r}$   
 (2) カ (c)  
 (3) キ (a)  
 (4)  $\sqrt{\frac{GM}{6.6R}}$

問2

- (1) 位相が反転する(πずれる)。  
 (2) 変化しない。  
 (3)  $2nd\cos r = \left(m + \frac{1}{2}\right)\lambda$   
 (4)  $\frac{\lambda}{4n}$   
 (5)  $\frac{1}{3}\lambda$

【理系型／物理Ⅱ】

問1 金属棒は磁場に垂直に速さ  $v_0$  で磁場を横切っているので、 $E_0 = v_0 B d$  である。  
 誘導起電力の向きは、レンツの法則より X から Y の向きである。

答  $E_0 = v_0 B d$     向き：X から Y

問2 流れる電流は、オームの法則より、 $I_1 = \frac{E}{R}$  である。

答  $I_1 = \frac{E}{R}$

問3 L を離れた直後の電流は  $I_1$  である。電流が磁場から受ける力の公式より、

$F = I_1 B d = \frac{E B d}{R}$  である。力の向きは、フレミングの左手の法則より、左向きである。

答  $F = \frac{E B d}{R}$     向き：左向き

問4 上から見て時計回りの起電力の和は、 $E - v B d$  である。流れる電流は、オームの法則より、 $I_2 = \frac{E - v B d}{R}$

答  $I_2 = \frac{E - v B d}{R}$

問5 L が一定の速さ  $v'$  になったとき、 $I_2 = 0$  となり、L は磁場から力を受けていない。

$\therefore \frac{E - v' B d}{R} = 0$

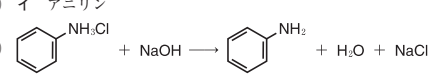
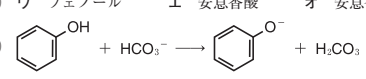
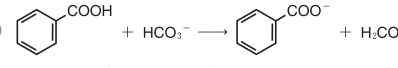
答  $v' = \frac{E}{B d}$

【理系型／化学Ⅰ】

問1

- (1) ア 無色    イ 赤褐色    ウ 酸化力  
 (2) エ 不動態  
 (3)  $3\text{Cu} + 8\text{HNO}_3 \rightarrow 3\text{Cu}(\text{NO}_3)_2 + 4\text{H}_2\text{O} + 2\text{NO}$   
 (4)  $\text{Cu} + 4\text{HNO}_3 \rightarrow \text{Cu}(\text{NO}_3)_2 + 2\text{H}_2\text{O} + 2\text{NO}_2$   
 (5)  $4\text{NH}_3 + 5\text{O}_2 \rightarrow 4\text{NO} + 6\text{H}_2\text{O}$   
 (6)  $3\text{NO}_2 + \text{H}_2\text{O} \rightarrow 2\text{HNO}_3 + \text{NO}$   
 (7) 12.6 kg (1.26 × 10<sup>4</sup> kg)

問2

- (1) ア アニリン塩酸塩  
 (2) イ アニリン  
 (3)   
 (4) ウ フェノール    エ 安息香酸    オ 安息香酸ナトリウム  
 (5)   
 (6)   
 (7)  $K = 3.1 \times 10^{-4}$      $K' = 1.4 \times 10^2$

【理系型／化学Ⅱ】

問1 水がすべて気体であると仮定したときの圧力は、 $\text{H}_2\text{O} = 18$  より、

$P \times 10 = \frac{3.6}{18} \times 8.31 \times 10^3 \times 363$      $P = 6.03 \times 10^4 \text{ Pa} < 7.0 \times 10^4 \text{ Pa}$

よって、水はすべて気体であり、

$P_{\text{H}_2\text{O}} = 6.03 \times 10^4 \text{ Pa}$

答  $6.0 \times 10^4 \text{ Pa}$

問2 水がすべて気体であると仮定したときの圧力は、 $\text{H}_2\text{O} = 18$  より、

$P \times 10 = \frac{2.4}{18} \times 8.31 \times 10^3 \times 333$      $P = 3.67 \times 10^4 \text{ Pa} > 2.0 \times 10^4 \text{ Pa}$

よって、水は気液平衡の状態であり、 $P_{\text{H}_2\text{O}} = 2.0 \times 10^4 \text{ Pa}$

水蒸気を  $w$  (g) とすると、

$2.0 \times 10^4 \times 10 = \frac{w}{18} \times 8.31 \times 10^3 \times 333$      $w = 1.30 \text{ g}$

したがって、 $2.4 - 1.30 = 1.1 \text{ g}$

答  $1.1 \text{ g}$

問3 水がすべて気体であると仮定したときの圧力は、 $\text{H}_2\text{O} = 18$  より、

$P \times 20 = \frac{2.4}{18} \times 8.31 \times 10^3 \times 333$      $P = 1.84 \times 10^4 \text{ Pa} < 2.0 \times 10^4 \text{ Pa}$

よって、水はすべて気体なので液体の水の質量は 0 g である。

答  $0 \text{ g}$

問4  $\cdot P_{\text{N}_2} = 5.0 \times 10^4 \times \frac{333}{293} = 5.68 \times 10^4 \text{ Pa}$

・水がすべて気体であると仮定したときの圧力は、 $\text{H}_2\text{O} = 18$  より、

$P \times 10 = \frac{3.6}{18} \times 8.31 \times 10^3 \times 333$      $P = 5.53 \times 10^4 \text{ Pa} > 2.0 \times 10^4 \text{ Pa}$

よって水は気液平衡の状態であり、

$P_{\text{H}_2\text{O}} = 2.0 \times 10^4 \text{ Pa}$

よって全圧は、

$5.68 \times 10^4 + 2.0 \times 10^4 = 7.68 \times 10^4 \text{ Pa}$

答  $7.7 \times 10^4 \text{ Pa}$

【文系型／現代文】

問題番号	設問番号	正解	問題番号	設問番号	正解
一	A 1	ウ	三	A 26	イ
	A 2	ア		A 27	ウ
	A 3	イ		A 28	イ
	A 4	ア		A 29	ウ
	A 5	イ		A 30	ア
	A 6	ア		A 31	オ
	A 7	イ		A 32	ウ
	A 8	ア		A 33	ウ
	A 9	ア		A 34	オ
	A 10	イ		A 35	エ
	A 11	ウ		A 36	ア
二	A 12	ウ	/		
	A 13	イ			
	A 14	エ			
	A 15	ウ			
	A 16	ウ			
	A 17	エ			
	A 18	イ			
	A 19	ア			
	A 20	ア			
	A 21	オ			
	A 22	イ			
	A 23	ウ			
	A 24	オ			
	A 25	ア			

【文系型／古文】

問題番号	設問番号	正解
四	A 49	ア
	A 50	エ
	A 51	イ
	A 52	ウ
	A 53	ア
	A 54	ウ
	A 55	イ
	A 56	ア
	A 57	イ

【文系型／漢文】

問題番号	設問番号	正解
五	A 65	ア
	A 66	イ
	A 67	エ
	A 68	ウ
	A 69	ウ
	A 70	エ
	A 71	ア
	A 72	イ
A 73	イ	

【理系型／数学】

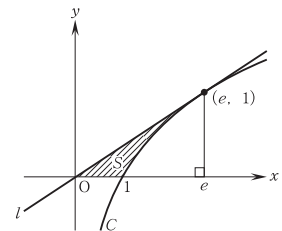
I (1)	ア	$a^2 - a - b \geq 0$	イ	$b \leq -\frac{1}{4}$
(2)	ウ	$2n + 1$	エ	$n$
(3)	オ	$0 < x < \frac{2}{3}\pi$	カ	$0 < \theta < \frac{\pi}{3}$
(4)	キ	7	ク	8

II

$C: y = \log x.$   
 (1)  $y = \log x$  のとき,  
 $y' = \frac{1}{x}$   
 であるから、曲線  $C$  上の点  $(a, \log a)$   
 $(a > 1)$  における  $C$  の接線  $l$  の方程式は、  
 $y = \frac{1}{a}(x - a) + \log a$   
 すなわち  
 $y = \frac{1}{a}x + \log a - 1. \dots(\text{答})$   
 (2)  $l$  が原点を通る条件は、  
 $0 = \frac{1}{a} \cdot 0 + \log a - 1$   
 であるから、求める  $a$  の値は、  
 $\log a = 1$   
 より、  
 $a = e. \dots(\text{答})$

(3)  $\int_1^e \log x \, dx = [x \log x - x]_1^e$   
 $= 1. \dots(\text{答})$   
 (4) (2) のとき、求める面積は図の斜線部分  
 の面積であるから、(3) より、

$$S = \frac{1}{2} \cdot e \cdot 1 - \int_1^e \log x \, dx = \frac{e}{2} - 1. \dots(\text{答})$$



III

$t\vec{PA} + 4\vec{PB} + 5\vec{PC} = \vec{0}. \dots(1)$   
 (1) (1) より、  
 $-t\vec{AP} + 4(\vec{AB} - \vec{AP}) + 5(\vec{AC} - \vec{AP}) = \vec{0}$   
 $(t + 9)\vec{AP} = 4\vec{AB} + 5\vec{AC}.$   
 $t > 0$  より、 $t + 9 > 0$  であるから、  
 $\vec{AP} = \frac{4}{t + 9}\vec{AB} + \frac{5}{t + 9}\vec{AC}. \dots(\text{答})$   
 (2) 辺  $BC$  を  $5 : 4$  に内分する点を  $D$  とす  
 るとき、

$$\overrightarrow{AD} = \frac{4\overrightarrow{AB} + 5\overrightarrow{AC}}{5+4}$$

と表せる。

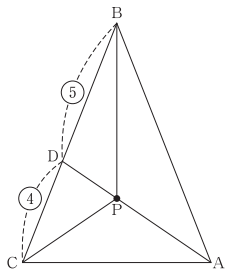
このことと、(1)の結果より、

$$\begin{aligned}\overrightarrow{AP} &= \frac{9}{t+9} \cdot \frac{4\overrightarrow{AB} + 5\overrightarrow{AC}}{5+4} \\ &= \frac{9}{t+9} \overrightarrow{AD}\end{aligned}$$

であるから、Pは直線AD上にある。

(証明終り)

(3) (2)より、次の図のようになる。



よって、

$$\begin{aligned}\triangle BPC &= \frac{9}{5} \triangle BPD \\ &= \frac{9}{5} \cdot \frac{t}{9} \triangle APB \\ &= \frac{t}{5} \triangle APB\end{aligned}$$

すなわち

$$\frac{\triangle BPC}{\triangle APB} = \frac{t}{5} \quad \dots(\text{答})$$

$$\begin{aligned}(4) \quad & \overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC} = -17, \quad \dots(2) \\ & \overrightarrow{BC} \cdot \overrightarrow{CA} = -8, \quad \dots(3) \\ & \overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{AB} = -8. \quad \dots(4)\end{aligned}$$

(2)より、

$$\begin{aligned}\overrightarrow{AB} \cdot (\overrightarrow{AC} - \overrightarrow{AB}) &= -17 \\ \overrightarrow{AB} \cdot (-\overrightarrow{CA} - \overrightarrow{AB}) &= -17 \\ -\overrightarrow{CA} \cdot \overrightarrow{AB} - |\overrightarrow{AB}|^2 &= -17.\end{aligned}$$

(4)より、

$$-(-8) - |\overrightarrow{AB}|^2 = -17$$

$$|\overrightarrow{AB}|^2 = 25.$$

$|\overrightarrow{AB}| > 0$ より、

$$AB = |\overrightarrow{AB}| = 5. \quad \dots(\text{答})$$

同様に、(3)と(2)、(4)と(3)より、

$$BC = 5, \quad CA = 4. \quad \dots(\text{答})$$

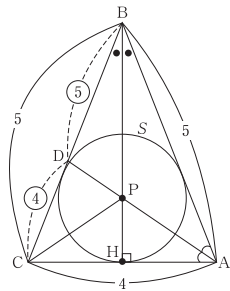
(5) (4)のとき、 $\triangle ABC$ は $AB=BC$ の二等辺三角形である。また、Pを中心とする円SがABとBCの両方に接していることから、

BPは $\angle ABC$ の二等分線  $\dots(5)$

であり、直線BPと辺CAの交点をHとすると、Hは辺CAの中点であり、 $\angle BHA = 90^\circ$ である。

このとき、 $\triangle APB = \triangle BPC$ であるから、(3)の結果より、

$$t = 5. \quad \dots(\text{答})$$



さらに、 $AB=5, CA=4$ 、

$BD:DC=5:4$ より、

APは $\angle BAC$ の二等分線  $\dots(6)$

であり、(5)、(6)より、Pは $\triangle ABC$ の内心である。

$\triangle BCH$ で三平方の定理を用いると、

$$BH = \sqrt{BC^2 - CH^2} = \sqrt{5^2 - 2^2} = \sqrt{21}$$

であるから、

$$\begin{aligned}\triangle ABC &= \frac{1}{2} CA \cdot BH = \frac{1}{2} \cdot 4 \cdot \sqrt{21} \\ &= 2\sqrt{21}.\end{aligned}$$

よって、

$$\frac{1}{2} r (AB + BC + CA) = \triangle ABC$$

$$\frac{1}{2} r (5 + 5 + 4) = 2\sqrt{21}$$

より、

$$r = \frac{2\sqrt{21}}{7}. \quad \dots(\text{答})$$

外国語  
全学統一入試

【文系型・理系型／英語】

問題番号	設問番号	正解	問題番号	設問番号	正解	問題番号	設問番号	正解
A I	1	B	A III	28	B	A V	55	D
	2	C		29	D		56	C
	3	A		30	A		57	A
	4	B		31	C		58	B
	5	D		32	D		59	C
	6	C		33	A		60	B
	7	D		34	B		61	A
	8	A		35	C		62	B
	9	B		36	C	63	D	
	10	C		37	A	A VI	64	C
	11	A		38	D		65	D
	12	A		39	C		66	A
	13	C		40	D		67	B
	14	B		41	A	68	B	
	15	A		42	B			
	16	D		43	A			
	17	D		44	C			
	18	C		45	B			
	19	A		46	B			
	20	B		47	D			
A II	21	B	A IV	48	C			
	22	C		49	A			
	23	D		50	B			
	24	A		51	D			
	25	B		52	A			
	26	C		53	C			
	27	A		54	B			